

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスRePort東北桜教室	
○保護者評価実施期間	令和7年10月13日	令和7年11月10日
○保護者評価有効回答数	9家庭	9家庭
○従業者評価実施期間	令和7年10月13日	令和7年11月10日
○従業者評価有効回答数	5名	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援・療育の専門職（児童指導員、保育士、言語聴覚士、作業療法士、心理士など）が在籍し、遊びを通した学びを重視（遊戯・制作・運動）している。	一人ひとりのお子さまが安心して過ごせるよう、見通しを持てる環境づくりや個々の発達段階に合わせた支援方法を工夫しています。また、保護者の方との連携を重視し、ご家庭でも実践しやすい関わり方の助言を行うことで、継続的な成長につながるサポートを心がけている。	支援の質を高めるため、外部研修や事例検討を定期的に実施し、職員の専門性向上に努めています。またアセスメントの精度を上げ、より一人ひとりに合った個別支援計画の作成を進めています。
2	エビデンスに基づく療育（TEACCH、ABA、PECS、感覚統合など）を導入し、「できた！」を積み重ねる自信の育成をしている。	一人ひとりの興味（電車・恐竜・工作など）を活動に反映し、成功体験を積みやすいプログラムへの改善をしている。	連絡帳や送迎時のフィードバックの質向上に努めています。
3	アットホームで子どもが安心して通える雰囲気や成長と一緒に喜び合える関係性を築いている。	児童が集中しやすいよう、活動スペースは視覚的に分かりやすく構造化しており、音や光に敏感なお子さまのための静かなスペースも設けています。環境調整により安心して過ごせる時間を増やしている。	児童自身が選び、主体的に活動に参加できるよう、選択肢の提示や興味関心を反映したプログラムづくりを進めています。成功体験を積み重ねられるよう活動内容も見直していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の体制に課題があり、相談の時間や家庭で実践できる支援の提案が十分に行き届かない場合がある。	お迎えの時間が混み合い、フィードバックの時間が慌ただしくなってしまう事もある。	混みやすい時間帯には、フィードバックを簡潔にしつつも安心感を持てる声かけを心がけていきます。  ゆっくり話したい保護者には「別日に時間を取れます」と案内していきます。
2	支援プログラムの幅や、個々の興味に合わせた活動設定において、さらなる充実をしていく。	午前支援と午後支援の間が短く、片付けと準備を同時に行う必要がある	午前支援と午後支援の間に短時間でも片付けと準備の時間を確保できるよう、活動量や流れの見直しを行っています。また、職員間で役割分担を明確にし、片付けや準備をスムーズに行える環境づくりを進めています。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスRePort東北桜教室				公表日	令和8年3月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	5		空間の使い方を工夫し、活動にも変化が出るようにしています。 その時のお子さんのニーズによって活動できます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		事前に支援内容を決めているため、部屋を分ける際に支援者の配置が明確化しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		机や椅子はお子さんに合わせた高さを提供できる工夫がされています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		こまめに清掃と消毒をおこなっています。 備品点検を積極的におこない、過ごしやすく怪我のないような空間になっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		切り替えが必要になった際にすぐに個室に移動できるようにしています。その時の為に予め荷物を置かない部屋を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に会議を行い話し合いをする時間を設けています。 その際には振り返りと改善に重点をおき目標について話し合いをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	話し合いをする中で個々に提案を発言できる雰囲気があります。	意見を共有して改善に努めていますが、完全な改善には届いていない時もあります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		様々な研修に参加しています。 個別に参加した際には研修の資料を全体に共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表についてはホームページに掲載しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		課題が達成できた際には課題の定着だけでなく、次の課題を保護者と模索しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		アセスメントを取る際には相談支援員さんにも同席してもらえるようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議の際に活動内容を決め、週間でできるプログラムを立てるなど、プログラムの展開をはかれるようにしています。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		担当職員を変えるなど、様々な資格を持つ職員の得意な分野で活動を決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		集団支援以外の個別支援、放課後等デイサービス、特化型クラスにおいてはその時の担当が活動を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		その日にあった活動の振り返りが口々にあがり、次回の支援決めにいかされています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		会議の際に話し合いをし、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じてクラスの担任の先生と電話等で児童の様子を共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		小学校入学前にお子さんの様子を知りたいと申し出がある際には、教室での様子を画面にて作成しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		該当する児童がないため情報を提供したことはありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		発達支援アドバイザーより助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			公園で一緒になる事はあるが、交流と言えるところまでは言っていないと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		県や市などの講演会や研修のチラシを掲示しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日頃から相談のあった際には即日お話を聞けるようにしています。 電話や教室でのモニタリングをしながらの相談など、必要性に応じておこなっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者同士で交流する機会を設ける事を検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		重要度が高い場合には掲示以外にも積極的に声掛けをしています。 インスタグラムやホームページにて活動の様子を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			保護者からは交流の機会があれば良いと声があがりますが、安全面の観点からは難しく、関係機関の方に限定しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		発生を想定した訓練を更に多く実施していきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		定期的に訓練を実施し、より多くのお子さまが訓練に参加できるようにしていきたいと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用開始前のアセスメントの際に保護者に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		利用開始時に保護者に口頭で伝えた承を得ています。		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：令和8年3月21日

事業所名：放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービス R e P o r t 東北桜 対象人数（保護者）9人 回答者数 9人 回収 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2				児童が安心して過ごせる環境づくりの為に、空間面での工夫についても今後も検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8				1	個別支援計画の作成にあたっては、一人ひとりの特性やニーズに応じた計画を立てることで、より実効性のある支援につながると考えております。今後も丁寧なアセスメントをもとに、個別性の高い支援の実現に努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	3	3		放課後児童クラブや地域との交流機会が十分に確保できておらず、児童の社会的経験の幅が限定されている状況があります。今後は、地域資源を活用しながら交流の機会を意図的に設定し、社会性や対人関係の経験を広げられるよう取り組んでまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				1	児童一人ひとりに応じた個別支援計画書について、計画の目的や支援のねらい、具体的な取り組み内容を含め、保護者の方へ分かりやすく丁寧に説明しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	1	2		今後は保護者様の参加できるイベントなどを開催する予定で考えております。
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	1				定期的にモニタリングを実施し、ご家族と教室での様子を共有しております。また、限られた時間ではありますが、お迎え時にも児童の様子を丁寧に伝え、より分かりやすい情報共有に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1	1			定期的にモニタリングの時間を設け、児童のご家庭の様子や、教室での様子をご家族と共有しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1				児童の気持ちに寄り添っていくように努めております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4			今後は保護者様の参加できるイベントなどを開催する予定で考えております。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	2			児童、保護者様の理解に合わせた説明や共有できるように工夫してまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	1			分かりやすい言葉や方法を用いた説明や情報共有に努めております。今後もより円滑な意思疎通が図れるよう、声掛けや伝達方法の工夫を継続してまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等については、ご契約時に保護者の方へ説明しております。また、避難訓練等は定期的に行い、毎回内容や想定を変えながら、さまざまな状況に対応できるよう実践的な訓練に取り組んでおります。	

時 等 の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2		定期的な訓練を実施することで、職員だけでなく児童も回数を重ねることに落ち着いて行動に移せるようになってきております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1				契約時に協力医療機関について説明しております。 また、事故等（怪我等を含む）が発生した際には、速やかに協力医療機関へ受診できる体制を整えております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1				職員一同で児童の通所を楽しみにしております。 いつ通所しても楽しい場所として運営してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1				日頃より教室の支援に対し、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいた評価を励みに、児童一人ひとりに寄り添った支援を継続するとともに、より一層の支援の質の向上に努めてまいります。